

Book 2 Unit 1 Talent Show pp. 5-14

Unit Goal

Input 記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。

Output イベントの企画を考えて、発表することができる。

・助動詞 will, be going to ~, S+V+O(that 節)を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)の特徴やきまりの理解を基に、短い会話を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの企画を考えて、発表するために、例としてどのようなイベントが提案されているか聞いて、要点を捉えている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの企画を考えて、発表するために、例としてどのようなイベントが提案されているか聞いて、要点を捉えようとしている。[T&S]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)の特徴やきまりの理解を基に、登場人物がタレントショーで何をするようになるかを話している文章を読んで理解し音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> 次回のタレントショーについての内容を考えるために、タレントショー開催のいきさつや反響について書かれた新聞記事を読んで、概要を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> 次回のタレントショーについての内容を考えるために、タレントショー開催のいきさつや反響について書かれた新聞記事を読んで、概要を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 未来表現 will の特徴やきまりを理解している。[P1] 天気についてたずね合うために、未来表現 will の文を用いて、伝える技能を身につけている。[P1 S] 相手に対して手伝いを申し出るために、未来表現 will の文を用いて、伝える技能を身につけている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 今度の週末の予定を伝え合うために、簡単な語句や文を用いて相手の予定を尋ねたり、自分の予定を伝えている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 今度の週末の予定を伝え合うために、簡単な語句や文を用いて相手の予定を尋ねたり、自分の予定を伝えようとしている。[P2 EY]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 未来表現 be going to ~, S+V+O(that 節)の特徴やきまりを理解している。[P2, 3] 週末の予定について話すために、未来表現 be going to ~の文を用いて、伝える技能を身につけている。[P2 EY] 自分の各教科の印象を伝えるために、S+V+O(that 節)の文を用いて、伝える技能を身につけている。[P3 S] 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で新しいイベントの企画をペアやグループで発表するために、イベントの開催時期や参加の対象となる人、イベントの内容について、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で新しいイベントの企画をペアやグループで発表するために、イベントの開催時期や参加の対象となる人、イベントの内容について、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> S+V+O(that 節)の特徴やきまりを理解している。 自分が好きなものについて紹介するために、S+V+O(that 節)の文を用いて、正確に書く技能を身につけている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 次回のタレントショーの参加者募集に応募するために、自分が参加する場合に何をするか、または、友達や先生を推薦する場合にどんなパフォーマンスを見たいかを、簡単な語句や文を用いて具体的にわかりやすく書いている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> 次回のタレントショーの参加者募集に応募するために、自分が参加する場合に何をするか、または、友達や先生を推薦する場合にどんなパフォーマンスを見たいかを、簡単な語句や文を用いて具体的にわかりやすく書こうとしている。[R&T]

Book 2 Let's Talk ① 親しい人への依頼 p. 15

単元目標

してほしいことを親しい人に依頼することができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「親しい人への依頼」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 「親しい人への依頼」で用いられている表現の特徴やきまりの理解を基に、してほしいことを依頼する会話を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「親しい人への依頼」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 してほしいことを親しい人に依頼する場面で、「親しい人への依頼」で用いられている表現を活用して会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> してほしいことを親しい人に依頼する場面を想定して、開催するイベントの内容や依頼することを決め、簡単な語句や文を用いて、イベントに誘い、してほしいことを依頼するスキットをペアで演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> してほしいことを親しい人に依頼する場面を想定して、開催するイベントの内容や依頼することを決め、簡単な語句や文を用いて、イベントに誘い、してほしいことを依頼するスキットをペアで演じようとしている。

Book 2 Let's Listen ① 週末の天気予報 p. 16

単元目標

天気予報を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「週末の天気予報」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「週末の天気予報」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、週末の天気予報を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末に何をするかを考えるために、Step 1 の週末の天気予報や Step 2 の週末の天気を聞いて、週末の天気や身に着けたり持って行ったりしたほうがよいものなどについての必要な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末に何をするかを考えるために、Step 1 の週末の天気予報や Step 2 の週末の天気を聞いて、週末の天気や身に着けたり持って行ったりしたほうがよいものなどについての必要な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「週末の天気予報」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 Step 1 の週末の天気予報や Step 2 の週末の天気で身に着けたり持って行ったりした方がよいものなどについて聞き取り、週末に何をするかを簡単な語句や文を用いてペアの相手に伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> Step 1 の週末の天気予報や Step 2 の週末の天気で聞いた情報を基に、週末に何をするかを考えて、ペアの相手と簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> Step 1 の週末の天気予報や Step 2 の週末の天気で聞いた情報を基に、週末に何をするかを考えて、ペアの相手と簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。

単元目標

友達と遊ぶことになっている今週の日曜日の予定に、別の友達も誘うことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 意志を表す未来表現および予測を表す未来表現の特徴やきまりを理解している。 週末に友達と遊ぶ予定について、意志を表す未来表現および予測を表す未来表現を用いて尋ねたり、それに答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末の予定に別の友達も誘うために、簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末の予定に別の友達も誘うために、簡単な語句や文を用いて、即興で尋ねたり答えたりしようとしている。

Unit Goal

Input 祭りを紹介するスピーチを聞いて、そのおおまかな内容や話者の考えを捉えることができる。

Output 祭りのおおまかな内容や自分の考えを伝えるスピーチをすることができる。

- ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, L&T=Listen & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりの理解を基に、短い会話を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いた内容を説明するために、スライドや年表を参考にしながら長岡花火の歴史やその意味についてのプレゼンテーションを聞いて、要点を捉えている。[L&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いた内容を説明するために、スライドや年表を参考にしながら長岡花火の歴史やその意味についてのプレゼンテーションを聞いて、要点を捉えようとしている。[L&T]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりの理解を基に、人びとが各地の祭りで行うことを紹介する文章を読んで理解し音読する技能を身につけている。[P1-3] 	/	/
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞(副詞的用法)の特徴やきまりを理解している。[P1] ・ 「～するために」という意味を伝えるために、to 不定詞(副詞的用法)の文を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P1 S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に夏休みに行きたい場所としたいことを伝えるために、自分が考えていることを、簡単な語句や文を用いて伝えている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に夏休みに行きたい場所としたいことを伝えるために、自分が考えていることを簡単な語句や文で伝えようとしている。[P1 EY]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ 友達や家族など身近な人にとって大切なことや楽しいことなどについて伝えるために、It is ~ (for+人など)+to 不定詞の文を用いて話す技能を身につけている。[P3 S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡花火について説明するために、スライドや年表を参考にしながら、長岡花火の歴史やその意味について、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[L&T] ・ 自分が好きな祭りや地域で開催されている祭りについて紹介するために、名前や場所、時期や特色、また自分の考えについて、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡花火について説明するために、スライドや年表を参考にしながら、長岡花火の歴史やその意味について、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[L&T] ・ 自分が好きな祭りや地域で開催されている祭りについて紹介するために、名前や場所、時期や特色、また自分の考えについて、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人など)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ 自分が住んでいる地域でおすすめのものや場所、食べものや祭りを紹介するために、to 不定詞(形容詞的用法)の文を用いて書く技能を身につけている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下級生に学校生活について伝えるために、自分の学校生活において、大切/楽しい/必要だと思うことを簡単な語句や文を用いて書いている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下級生に学校生活について伝えるために、自分の学校生活において、大切/楽しい/必要だと思うことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。[P3 EY]

Book 2 Let's Talk ② 気持ちを伝える p. 29

単元目標

出来事についての自分の気持ちを伝えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「気持ちを伝える」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 「気持ちを伝える」で用いられている表現の特徴やきまりの理解を基に、ある出来事についての自分の気持ちを伝える会話文を読み取る技能を身に付けている。 	/	/
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「気持ちを伝える」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 ある出来事についての自分の気持ちを伝える場面で、「気持ちを伝える」で用いられている表現を活用して会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ある出来事を見たり聞いたりした場面を想定して、出来事やそれについての気持ちを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、出来事と、それについての自分の気持ちを伝えるスキットをペアで演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ある出来事を見たり聞いたりした場面を想定して、出来事やそれについての気持ちを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、出来事と、それについての自分の気持ちを伝えるスキットをペアで演じようとしている。

Book 2 Focus on Form ② to+動詞の原形 pp. 30-31

単元目標

- 趣味について尋ねたり、趣味が何かを感想などととも伝えたりすることができる。
- 自分が週末にしたことを、した理由や感想などととも書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> It is ~ (for 人など) +to 不定詞, 不定詞の名詞的用法, 形容詞的用法, 副詞的用法の特徴やきまりを理解している。 互いの趣味について, It is ~ (for 人など) +to 不定詞, 不定詞の名詞的用法, 形容詞的用法, 副詞的用法を用いて尋ねたり, それに答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いにペアの相手の趣味について知るために, 簡単な語句や文を用いて, 即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いにペアの相手の趣味について知るために, 簡単な語句や文を用いて, 即興で尋ねたり答えたりしようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> It is ~ (for 人など) +to 不定詞, 不定詞の名詞的用法, 形容詞的用法, 副詞的用法の特徴やきまりを理解している。 先週末にしたことについて, It is ~ (for 人など) +to 不定詞, 不定詞の名詞的用法, 形容詞的用法, 副詞的用法を用いて正確に文を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が先週末にしたことについて伝えるために, した理由や感想などととも簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が先週末にしたことについて伝えるために, した理由や感想などととも簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書こうとしている。

単元目標

おすすめの旅行先を紹介するメールを書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> Ken が書いたおすすめの旅行先を紹介するメールで用いられている表現の意味や働きを理解している。 Ken が書いたおすすめの旅行先を紹介するメールで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、おすすめの旅行先を紹介するメールの内容を読み取る技能を身に付けている。 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> Ken が書いたおすすめの旅行先を紹介するメールで用いられている表現の意味や働きを理解している。 おすすめの旅行先を紹介するメールで用いられている表現を用いて、おすすめの旅行先とそこでできることをメールに正確に書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> メールを読む相手が、自分の提案した旅行先に行ってもらえるように、おすすめの旅行先とそこでできることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメールを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> メールを返信する相手に理解してもらえるよう、おすすめの旅行先とそこでできることについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの文章を書こうとしている。

Book 2 Unit 3 Visiting Singapore pp. 33-42

Unit Goal

Input シンガポールについての説明文を読んで、要点を捉えることができる。

Output 学校のルールを紹介する文章を書くことができる。

・助動詞 must, have to, should を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりの理解を基に、短い会話を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。[P1-3 L] 		
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりの理解を基に、シンガポールについての紹介やできることについての文章や会話文を読んで理解し音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> シンガポールの多様性を理解するために、人種や言語、宗教について紹介するガイドブックの説明文を読んで、概要を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> シンガポールの多様性を理解するために、人種や言語、宗教について紹介するガイドブックの説明文を読んで、概要を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりを理解している。[P1-3] すべきことやしなければならないことを相手に伝えるために、助動詞 must, have to, should を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P1-3S] 		
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 must, have to, should の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 海外からの留学生に日本のお土産についてのアドバイスをするために、助動詞 should を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 海外の中学生が、自分の家でホームステイをすることになった場合に、自分の家のルールについて、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 海外の中学生が、自分の家でホームステイをすることになった場合に、自分の家のルールについて、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[P1 EY]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞 have to の特徴やきまりを理解している。[P2] 自分がしなければならないこと、する必要がないことを伝えるために、助動詞 have to を用いて、書いて伝える技能を身につけている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学校のルールを紹介するために、適切なトピックや具体例を、簡単な語句や文を用いて分かりやすい表現で書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学校のルールを紹介するために、適切なトピックや具体例を、簡単な語句や文を用いて分かりやすい表現で書こうとしている。[T&W]

単元目標

空港や機内のアナウンスから必要な情報を聞き取り、ほかの人に伝えることができる。

評価規準 (BL = Before Listening)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「空港のアナウンス」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「空港のアナウンス」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、アナウンスを聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空港のアナウンスから、搭乗予定機の搭乗口の変更、離陸が遅れる理由や時間、そして機内のアナウンスからは飛行時間、到着時刻、到着先の天気などの必要な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空港のアナウンスから、搭乗予定機の搭乗口の変更、離陸が遅れる理由や時間、そして機内のアナウンスからは飛行時間、東京到着時刻、到着先の天気などの必要な情報を聞き取ろうとしている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> Before Listening の飛行機の搭乗券に書かれている語句の意味や働きを理解している。 Before Listening の飛行機の搭乗券に書かれている語句の意味や働きの理解を基に、搭乗券を見て、必要な情報を読み取る技能を身に付けている。[BL] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 「空港のアナウンス」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 機内のアナウンスを聞き取って、飛行時間や到着時刻、到着先の天気などについて、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を聞いていて聞き逃したいところに、機内アナウンスで聞いた飛行時間や到着時刻、到着先の天気を簡単な語句や文を用いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を聞いていて聞き逃したいところに、機内アナウンスで聞いた飛行時間や到着時刻、到着先の天気を簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。

Book 2 Project ① Sharing Japanese Culture with the World pp. 44-45

単元目標

日本文化について紹介する一貫性のある文章を書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、2 人の紹介文を読んで、その要点を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化について紹介するパンフレットを作成する参考にするために、Sho と Hina が書いた紹介文を読んで、どんなことをどのように紹介しているのかなどの要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化について紹介するパンフレットを作成する参考にするために、Sho と Hina が書いた紹介文を読んで、どんなことをどのように紹介しているのかなどの要点を捉えようとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現を活用して、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいよう、紹介する日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいよう、紹介する日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現の意味や働きを理解している。 Sho と Hina が書いた日本文化の紹介文で用いられている表現を活用して、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を正確に用いて書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを読む人に理解してもらえよう、紹介する日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて一貫性のある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを読む人に理解してもらえよう、紹介する日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて一貫性のある文章を書こうとしている。

Book 2 Let's Read ① The Restaurant of Many Orders pp. 46-48

単元目標

物語を読んで、登場人物の行動や心情の変化、あらすじなどを捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <i>The Restaurant of Many Orders</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 <i>The Restaurant of Many Orders</i> を読むために必要な語句の意味や働きの理解を基に、2 人の若い紳士が山奥で道に迷う物語の内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や心情の変化、あらすじなどを捉えるために、<i>The Restaurant of Many Orders</i> を読んで、話の概要を捉え、物語における“orders”の意味や登場人物がレストランで泣き出した理由などを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や心情の変化、あらすじなどを捉えるために、<i>The Restaurant of Many Orders</i> を読んで、話の概要を捉え、物語における“orders”の意味や登場人物がレストランで泣き出した理由などを読み取ろうとしている。

Unit Goal

Input 防災についての話を聞いて、要点を捉えることができる。

Output 災害発生時のとるべき行動について、説明することができる。

- ・ There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, L&T=Listen & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりの理解を基に、短い会話や話を聞いて、話し手の意向を正確に把握する技能を身につけている。[P1-3L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ番組で聞いた内容を、聞いていなかった人に内容を整理して伝えるために、海外出身の住民に向けた防災対策のラジオ番組を聞いて、要点を捉えている。[L&T] ・ 災害発生時のとるべき行動について発表するために、火災が発生したときの行動についての説明を聞いて、要点を捉えている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ番組で聞いた内容を、聞いていなかった人に内容を整理して伝えるために、海外出身の住民に向けた防災対策のラジオ番組を聞いて、要点を捉えようとしている。[L&T] ・ 災害発生時のとるべき行動について発表するために、火災が発生したときの行動についての説明を聞いて、要点を捉えようとしている。[T&S]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりの理解を基に、防災訓練のイベントで行われていることについての文章や会話文を読んで理解し音読する技能を身につけている。[P1-3] 	/	/
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりを理解している。[P2] ・ 自分が知りたい情報を得るために相手に尋ねるとき、S+V+O(疑問詞+to 不定詞)の文を用いて、尋ねる技能を身につけている。[P2 EY] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is/are ~.の特徴やきまりを理解している。[P1] ・ 自分が住んでいる地域のおすすめの場所を、海外からの観光客に紹介するために、There is/are ~.の文を用いて、紹介する技能を身につけている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ番組を聞いていなかった人に番組内容を伝えるために、日ごろからの準備や避難先の場所などについて聞いた内容を整理して、簡単な語句や文を用いて話している。[L&T] ・ 災害発生時のとるべき行動について発表するために、災害の種類に合わせた具体的な行動や注意事項を整理し、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ番組を聞いていなかった人に番組内容を伝えるために、日ごろからの準備や避難先の場所などについて聞いた内容を整理して、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。[L&T] ・ 災害発生時のとるべき行動について発表するために、災害の種類に合わせた具体的な行動や注意事項を整理し、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の特徴やきまりを理解している。[P3] ・ 海外からやってくる留学生に、自分が何を教えられるかを伝えるために、S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)の文を用いて、書く技能を身につけている。[P3 EY] 	/	/

Book 2 Let's Talk ③ 道案内 pp. 60-61

単元目標

目的地までの行き方を尋ねたり説明したりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「道案内」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 「道案内」で用いられている表現の特徴やきまりの理解を基に、目的地までの行き方を尋ねたり答えたりする会話文を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「道案内」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 目的地までの行き方を尋ねたり説明したりする場面で、「道案内」で用いられている表現を活用して、会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 通りがかりの人から道を尋ねられた場面を想定して、目的地を自由に決め、簡単な語句や文を用いて、目的地までの行き方を尋ねたり答えたりするスキットをペアで演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 通りがかりの人から道を尋ねられた場面を想定して、目的地を自由に決め、簡単な語句や文を用いて、目的地までの行き方を尋ねたり答えたりするスキットをペアで演じようとしている。

Book 2 Unit 5 What is Your Dream? pp. 63-72

Unit Goal

- Input スピーチやお礼の手紙から、職場体験で得た知識や感じたことなどを読み取ることができる。
- Output 将来の夢とそれを実現するために取り組むことなどについて書くことができる。
- ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりの理解を基に、短い会話や話を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。[P1-3 L] 		
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりの理解を基に、職場体験先について考える会話や職場体験を終えてのスピーチを読んで理解し音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・Jin が夢をかなえるために今後具体的に取り組むべきことを話し合うために、Jin のお礼の手紙を読んで、職場体験で学んだことについて、内容を整理して概要を捉えている。[R&T] ・自分の将来の夢や達成したい目標について書くために、Hina が将来の夢についてできることを書いた文章を読んで、概要を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・Jin が夢をかなえるために今後具体的に取り組むべきことを話し合うために、Jin のお礼の手紙を読んで、職場体験で学んだことについて、内容を整理して概要を捉えようとしている。[R&T] ・自分の将来の夢や達成したい目標について書くために、Hina が将来の夢についてできることを書いた文章を読んで、概要を捉えようとしている。[T&W]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・「～が...ならば」という仮定を表すとき、「～が...なので」という理由を表すとき、「～して楽しい・悲しい」などの意味を伝えるために、接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の文を用いて、伝え合う技能を身につけている。[P1-3 S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・週末の予定について友達と話し合うために、晴れの場合と雨の場合の計画を簡単な語句や文で伝え合っている。[P1 EY] ・職場体験の希望を伝えるために、行きたい場所とその理由を簡単な語句や文で伝えている。[P2 EY] ・Jin が夢をかなえるために今後具体的にどのようなことに取り組むべきかについて、簡単な語句や文で意見を伝え合っている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・週末の予定について友達と話し合うために、晴れの場合と雨の場合の計画を簡単な語句や文で伝え合おうとしている。[P1 EY] ・職場体験の希望を伝えるために、行きたい場所とその理由を簡単な語句や文で伝えようとしている。[P2 EY] ・Jin が夢をかなえるために今後具体的にどのようなことに取り組むべきかについて、簡単な語句や文で意見を伝え合おうとしている。[R&T]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・自分が頑張っていることや今後の見通しについて、ペアやグループで発表するために、S+be 動詞+形容詞+that 節の文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[P3 EY] 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・「～が...ならば」という仮定を表すとき、「～が...なので」という理由を表すとき、「～して楽しい・悲しい」などの意味を伝えるために、接続詞 if と because, S+be 動詞+形容詞+that 節の文を用いて、正確に書く技能を身につけている。[P1-3 W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の夢または達成したい目標について伝えるために、実現するために必要なことや、そのために取り組むことを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の夢または達成したい目標について伝えるために、実現するために必要なことや、そのために取り組むことを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[T&W]

Book 2 Let's Talk ④ レストランでの食事 p. 73

単元目標

店員の説明を聞き取り、自分の食べたいものを注文することができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「レストランでの食事」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「レストランでの食事」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、店員の説明を聞いて注文する会話を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「レストランでの食事」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 レストランで注文する場面で、「レストランでの食事」で用いられている表現を活用して、会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外のレストランでランチを食べる場面を想定して、おすすめの料理や注文する飲み物、出してもらうタイミングなどを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外のレストランでランチを食べる場面を想定して、おすすめの料理や注文する飲み物、だしてもらうタイミングなどを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、ペアでスキットを演じようとしている。

Book 2 Focus on Form ③ 仮定・理由・時を表す接続詞 p. 74

単元目標

・週末がどんな天気の場合に何をするかを尋ねたり、それに答えたりすることができる。

・余暇に何をするのが好きかを尋ねたり、余暇にすることをその理由とともに伝えたりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 仮定・理由・時を表す接続詞を用いた文の特徴やきまりを理解している。 仮定・理由・時を表す接続詞を用いて、今週末の天気を仮定して尋ね合ったり、余暇にどんなことをするのが好きかを理由とともに尋ね合ったりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末がどんな天気の場合に何をするか、余暇にどんなことをするのが好きかなどについて知るために、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり、答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末がどんな天気の場合に何をするか、余暇にどんなことをするのが好きかなどについて知るために、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり、答えたりしようとしている。

Unit Goal

Input 合唱コンクールに対する登場人物の取り組み方や心情の変化などを読み取ることができる。

Output 友達の悩みに対して、自分の気持ちや考えを整理してアドバイスを書くことができる。

・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+人+to 不定詞を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の特徴やきまりの理解を基に、短い話や会話を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。[P1-3 L] 		
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の特徴やきまりの理解を基に、合唱コンクールに臨む生徒たちの会話文を読んで理解し、音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱コンクールの日の夜に 4 人の生徒がやり取りをしたメッセージの内容を読んで、生徒たちの感想を整理し、概要を捉えている。[R&T] ・ Kiri が Hina に送信したメールの内容を読んで、相談している悩みについて、問題を整理し、概要を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱コンクールの日の夜に 4 人の生徒がやり取りをしたメッセージの内容を読んで、生徒たちの感想を整理し、概要を捉えようとしている。[R&T] ・ Kiri が Hina に送信したメールの内容を読んで、相談している悩みについて、問題を整理し、概要を捉えようとしている。[T&W]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+C(名詞/形容詞)の特徴やきまりを理解している。[P2] ・ 自分が何かしたときになる気持ちを伝え合うために、S+V+O+C(名詞/形容詞)の文を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気持ちを伝えるために、嬉しかったり、安心したり、緊張したり、悲しくなる状況について簡単な語句や文で伝えている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気持ちを伝えるために、嬉しかったり、安心したり、緊張したり、悲しくなる状況について簡単な語句や文で伝えようとしている。[P2 EY]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+C(名詞)の特徴やきまりを理解している。[P1] ・ 人やものを「～と呼びます」と言うときに、S+V+O+C(名詞)の文を用いて、話す技能を身につけている。[P1 S] 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・ 周りの人が自分をどう呼んでいるか、自分が周りの人をどう呼んでいるかを伝えるためや、人に「～してほしいです」と伝えるために、S+V+O+C(名詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の文を用いて、正確に書く技能を身につけている。[P1, 3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達や家族など、周りの人をどう呼んでいるか、また、周りの人が自分をどう呼んでいるかを紹介するために、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[P1 EY] ・ 自分がだれかにしてほしいことを伝えるために、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[P3 EY] ・ Kiri からの悩みを相談するメールに返信するために、Kiri の良いところ、努力しているところ、Kiri に対する自分の気持ちやアドバイスを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達や家族など、周りの人をどう呼んでいるか、また、周りの人が自分をどう呼んでいるかを紹介するために、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[P1 EY] ・ 自分がだれかにしてほしいことを伝えるために、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[P3 EY] ・ Kiri からの悩みを相談するメールに返信するために、Kiri の良いところ、努力しているところ、Kiri に対する自分の気持ちやアドバイスを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[T&W]

単元目標

留守番電話に残されたメッセージを聞いて必要な情報を聞き取り、返事をする事ができる。

評価規準 (BL = Before Listening)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「留守番電話」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「留守番電話」で用いられる表現の意味や働きの理解を基に、友達からのメッセージを聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 留守番電話に残されたメッセージへの返事をするために、メッセージを聞いて、「何を」、「いつ」、「なぜ」なのか、待ち合わせ場所、音楽祭の開演時間などの必要な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 留守番電話に残されたメッセージへの返事をするために、メッセージを聞いて、「何を」、「いつ」、「なぜ」なのか、待ち合わせ場所、音楽祭の開演時間などの必要な情報を聞き取っている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> BLの音楽祭のチケットに書かれている語句の意味や働きを理解している。 音楽祭のチケットに書かれている語句の意味や働きの理解を基に、チケットを見て、必要な情報を読み取る技能を身に付けている。 	/	/
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「留守番電話」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 Maryからの留守番電話に残されたメッセージを聞いて、「留守番電話」で用いられている表現を用いて、メッセージに対する返事を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 留守番電話に残されたメッセージへの返事をするために、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 留守番電話に残されたメッセージへの返事をするために、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。

単元目標

- ・ふだんどこで勉強するかについて尋ねたり、勉強する場所やそこでする理由などを答えたりすることができる。
- ・将来どんなロボットがほしいかを、そのロボットにつける名前やしてほしいこと、自分にどんなアドバイスをするかなどを書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is/are ~., S+V+O(that 節), S+be 動詞+形容詞+that 節, S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O(人)+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+C(名詞・形容詞), S+want/ tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いた文などの特徴やきまりを理解している。 ・ 普段どこで勉強をするかについて, There is/are ~., S+V+O(that 節), S+be 動詞+形容詞+that 節, S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O(人)+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+C(名詞・形容詞), S+want/ tell/ask+O(人)+to 不定詞などを用いて, 尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアの相手が普段どこで勉強するのか, そこでする理由などについて知るために, 簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアの相手が普段どこで勉強するのか, そこでする理由などについて知るために, 簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is/are ~., S+V+O(that 節), S+be 動詞+形容詞+that 節, S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O(人)+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+C(名詞・形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いた文などの特徴やきまりを理解している。 ・ 将来どんなロボットがほしいかについて, There is/are ~., S+V+O(that 節), S+be 動詞+形容詞+that 節, S+V+O(疑問 詞 +to 不定 詞), S+V+O(人)+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+C(名詞・形容詞), S+want/ tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いた文などの特徴やきまりを理解している。を含んだ文などを用いて, 正確に文を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来どんなロボットがほしいかについて伝えるために, 簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来どんなロボットがほしいかについて伝えるために, 簡単な語句や文を用いて, まとまりのある文章を書こうとしている。

単元目標

「30年後にあったらいいなと思うもの」について、そのものの機能やその具体例などを示しながら話すことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、プレゼンテーションの原稿を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」についてのプレゼンテーションをする参考にするために、Hinaが書いたプレゼンテーションの原稿を読んで、要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」についてのプレゼンテーションをする参考にするために、Hinaが書いたプレゼンテーションの原稿を読んで、要点を捉えようとしている。
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「30年後にあったらいいなと思うもの」についてのプレゼンテーションを行うために、書いたメモについて相手とたずね合ったり、追加情報を伝え合ったりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」についてプレゼンテーションを行うために作成したメモについて、質問や追加できそうな情報を簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 互いのプレゼンテーションについて、評価の観点を参考にして、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」についてプレゼンテーションを行うために作成したメモについて、質問や追加できそうな情報を簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。 互いのプレゼンテーションを評価の観点を参考にして、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 プレゼンテーションで用いられている表現を活用して、「30年後にあったらいいなと思うもの」の機能や具体例について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいよう、「30年後にあったらいいなと思うもの」について、機能や具体例とともに自分の考えを簡単な語句や文を用いて、適切な声の大きさやスピードで発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいよう、「30年後にあったらいいなと思うもの」について、機能や具体例とともに自分の考えを簡単な語句や文を用いて、適切な声の大きさやスピードで発表しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 プレゼンテーションで用いられている表現を活用して、あったらいいなと思うものとその機能や具体例を整理して、簡単な語句や文を用いてメモを書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションを行うために、最初のあいさつ、あったらいいなと思うもの、機能や具体例、最後のあいさつなど、表の項目ごとに自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメモを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「30年後にあったらいいなと思うもの」というプレゼンテーションを行うために、最初のあいさつ、あったらいいなと思うもの、機能や具体例、最後のあいさつなど、表の項目ごとに自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメモを書こうとしている。

Book 2 Let's Read ② The Snowman pp. 90-93

単元目標

物語を読んで、あらすじや男の子の心情を捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>The Snowman</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>The Snowman</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解を基に、男の子と雪だるまについて書かれた物語を読み、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の内容をリテリングするために、<i>The Snowman</i> を読んで、物語の概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の内容をリテリングするために、<i>The Snowman</i> を読んで、物語の概要を捉えようとしている
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>The Snowman</i> を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 ・ <i>The Snowman</i> の概要について、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手に理解してもらえよう、物語の概要について、教科書の絵を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手に理解してもらえよう、物語の概要について、教科書の絵を参考にしながら、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

Unit Goal

Input 紹介されている世界遺産の特徴や課題，そこでのルールなどを読み取ることができる。

Output 自分の住む地域の“Treasure”としての大切な場所や建物，人，ものなどを，理由を示しながら紹介するスピーチをすることができる。

- ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, R&T=Read & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりの理解を基に，短い話や会話を聞いて，話し手の意向を正確に把握する技能を身につけている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住む地域や学校の大切なものを紹介するために，“Our Treasure”というトピックで Sho が地域の大切なものを紹介している発表を聞いて，要点を捉えている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住む地域や学校の大切なものを紹介するために，“Our Treasure”というトピックで Sho が地域の大切なものを紹介している発表を聞いて，要点を捉えようとしている。[T&S]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりの理解を基に，世界遺産について紹介する文章を読んで理解し，音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産が抱える課題についての授業の内容を，授業を休んでいた友達に伝えるために，危機遺産に登録された 2 つの世界遺産に関する文章を読んで，課題を整理して概要を捉えている。[R&T] 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産が抱える課題についての授業の内容を，授業を休んでいた友達に伝えるために，危機遺産に登録された 2 つの世界遺産に関する文章を読んで，課題を整理して概要を捉えようとしている。[R&T]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級/最上級(more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・世界の山や動物を比較して紹介するために，比較級/最上級(-er, -est,)の文を用いて，伝え合う技能を身につけている。[P1 S] ・自分たちがすることのおもしろさや難しさについて比較して話すために，比較級/最上級(more ~, most ~)の文を用いて，伝え合う技能を身につけている。[P2 S] ・動物の特徴について話すために，as ~ as の文を用いて，伝え合う技能を身につけている。[P3 S] 	/	/
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・自分が住む地域や学校の宝物について発表するために，比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の文を用いて，それがどこにあり，おすすめのポイントは何かなどを整理して発表する技能を身につけている。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産が抱える課題についての授業の内容を，授業を休んでいた友達に伝えるために，内容を整理して簡単な語句や文を用いて伝えている。[R&T] ・自分が住む地域や学校の宝物についてペアやグループで発表するために，それがどこにあり，おすすめのポイントは何かなどの情報を整理し，簡単な語句や文を用いて，聞き手に分かりやすい表現で発表している。[T&S] 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産が抱える課題についての授業の内容を，授業を休んでいた友達に伝えるために，内容を整理して簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。[R&T] ・自分が住む地域や学校の宝物についてペアやグループで発表するために，それがどこにあり，おすすめのポイントは何かなどの情報を整理し，簡単な語句や文を用いて，聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[T&S]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の特徴やきまりを理解している。[P1-3] ・自分が行ってみたい国や場所について伝えたり，今までに読んだ本や見た映画について紹介したり，自分の情報を他の人の情報と比べて伝えるために，比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as の文を用いて，書いて伝える技能を身につけている。[P1-3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が行ってみたい国や場所について紹介するために，その場所について調べて整理し，簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[P1 EY] ・本や映画について紹介するために，簡単な語句や文を用いて，紹介文を書いている。[P2 EY] ・自分の情報を他者の情報と比較した内容を紹介するために，簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が行ってみたい国や場所について紹介するために，その場所について調べて整理し，簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[P1 EY] ・本や映画について紹介するために，簡単な語句や文を用いて，紹介文を書こうとしている。[P2 EY] ・自分の情報を他者の情報と比較した内容を紹介するために，簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[P3 EY]

Book 2 Let's Talk ⑤ 体調は？ p. 105

単元目標

相手の体調をたずね、アドバイスをしたり、自分の体調について説明したりすることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「体調は？」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 「体調は？」で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、体調を尋ねる場面の会話文を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「体調は？」で用いられている表現の意味や働きを理解している。 体調を尋ねる場面で、「体調は？」で用いられている表現を活用して、体調を尋ねたり、体調について答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調が悪そうな友達に声をかける場面を想定して、症状やアドバイスを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、体調を尋ねたり、アドバイスをしたりするスキットをペアで演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調が悪そうな友達に声をかける場面を想定して、症状やアドバイスを自由に決め、簡単な語句や文を用いて、体調を尋ねたり、アドバイスをしたりするスキットをペアで演じようとしている。

Book 2 Focus on Form ⑤ 比較表現 pp. 106-107

単元目標

- 身近なものについて、どちらがより好きか、何が一番好きかなどについて尋ねたり、答えたりすることができる。
- 理想の自分について、今の自分と比較しながら具体的に書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を用いた文の特徴やきまりを理解している。 身近なものについてどちらがより好きか、何が一番好きかについて、比較表現を用いて尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものについて、ペアの相手がどちらがより好きか、何が一番好きかなどについて知るために、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものについて、ペアの相手がどちらがより好きか、何が一番好きかなどについて知るために、簡単な語句や文を用いて即興で尋ねたり答えたりしようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を用いた文の特徴やきまりを理解している。 自分の理想と今の自分について、比較表現を用いて正確に文章を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 理想の自分について、今の自分と比較しながら具体的に伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 理想の自分について、今の自分と比較しながら具体的に伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。

単元目標

日本の習慣やマナーをまとまりのある文章で紹介することができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> Sho が書いた日本の習慣やマナーを紹介するメールに用いられている表現の意味や働きを理解している。 Sho が書いた日本の習慣やマナーを紹介するメールに用いられている表現の意味や働きの理解を基に、紹介文の内容を読み取る技能を身に付けている。 		
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> Sho が書いた日本の習慣やマナーを紹介するメールに用いられている表現の意味や働きを理解している。 Sho が書いた日本の習慣やマナーを紹介するメールに用いられている表現を活用して、日本の習慣やマナーについての紹介文を正確に書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> メールを返信する相手に理解してもらえるよう、日本の習慣やマナーについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> メールを返信する相手に理解してもらえるよう、日本の習慣やマナーについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの文章を書こうとしている。

Unit Goal

Input 食の多様性に関する発表を聞いて、食の特別なニーズやその具体例などの要点を捉えることができる。

Output 自分が住んでいる地域のおいしい食べ物について、その特色や材料、由来などを紹介するまとまりのある文章を書くことができる。

・受動態、助動詞+受動態を用いた文を理解したり表現したりすることができる。

評価規準 (P1/2/3=Part 1/2/3, L=Listen, S=Speak, W=Write, EY=Express Yourself, L&T=Listen & Think, T&S=Think & Speak)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりの理解を基に、短い会話や話を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。[P1-3 L] 	<ul style="list-style-type: none"> 食の多様性についてのプレゼンテーションで聞いた内容を要約するために、プレゼンテーションを聞いて、食の特別なニーズやその具体例などの要点を捉えている。[L&T] 	<ul style="list-style-type: none"> 食の多様性についてのプレゼンテーションで聞いた内容を要約するために、プレゼンテーションを聞いて、食の特別なニーズやその具体例などの要点を捉えようとしている。[L&T]
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりの理解を基に、様々な国や地域の食べ物の多様性についての会話文や文章を読んで理解し、音読する技能を身につけている。[P1-3] 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、オーストラリアの食べ物について紹介した記事を読んで、紹介されている項目を整理して概要を捉えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、オーストラリアの食べ物について紹介した記事を読んで、紹介されている項目を整理して概要を捉えようとしている。[T&W]
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 自分が知っていることについて言ったり、身の回りのものについてたずね合ったりするために、受動態、助動詞+受動態の文を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P1-3 S] 自分が興味のある行事などについてたずね合うために、受動態の文を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P2 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が興味のある行事などについて、簡単な語句や文で相手にたずね、伝えている。[P2 EY] 日本または自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、伝える内容を整理して簡単な語句や文で伝えている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が興味のある行事などについて、簡単な語句や文で相手にたずね、伝えようとしている。[P2 EY] 日本または自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、伝える内容を整理して簡単な語句や文で伝えようとしている。[T&W]
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 自分の好きな動物や植物を紹介するために、助動詞+受動態の文を用いて、話して伝える技能を身につけている。[P3 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな動物や植物を紹介するために、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表している。[P3 EY] 食の多様性についてのプレゼンテーションで聞いた内容を、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で要約して発表している。[L&T] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな動物や植物を紹介するために、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で発表しようとしている。[P3 EY] 食の多様性についてのプレゼンテーションで聞いた内容を、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で要約して発表しようとしている。[L&T]
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 受動態、助動詞+受動態の特徴やきまりを理解している。[P1-3] 自分が好きな小説やマンガ、曲などを紹介するために、受動態の文を用いて、書いて伝える技能を身につけている。[P1 EY] 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな小説やマンガ、曲などを紹介するために、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[P1 EY] 日本または自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、伝える項目や内容を整理して、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。[T&W] 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな小説やマンガ、曲などを紹介するために、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[P1 EY] 日本または自分が住む地域のおいしい食べ物について紹介するために、伝える項目や内容を整理して、簡単な語句や文を用いて文章を書こうとしている。[T&W]

Book 2 Let's Talk ⑥ 許可を求める p.119

単元目標

相手に許可を求めることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「許可を求める」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 「許可を求める」で用いられている表現の特徴やきまりの理解を基に、相手に許可を求める場面の会話文を読み取る技能を身に付けている。 		
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「許可を求める」で用いられている表現の特徴やきまりを理解している。 さまざまな許可を求める場面で、「許可を求める」で用いられている表現を活用して会話をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に許可を求める場面を想定して、したいことを決めて許可を求めたり、それに対して許可をしたり、理由を言って断ったりするスキットを簡単な語句や文を用いて演じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に許可を求める場面を想定して、したいことを決めて許可を求めたり、それに対して許可をしたり、理由を言って断ったりするスキットを簡単な語句や文を用いて演じようとしている。

Book 2 Let's Listen ④ ラジオ番組 p. 120

単元目標

ラジオ番組を聞いて必要な情報を聞き取り、それを友達に伝えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組で用いられている表現の意味や働きを理解している。 <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組で用いられている表現の意味や働きの理解を基に、ラジオ番組を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組について、その内容を聞き、Abby が何歳の時に何を、誰のために、誰としたかなどの必要な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組について、その内容を聞き、Abby が何歳の時に何を、誰のために、誰としたかなどの必要な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組で用いられている表現の意味や働きを理解している。 <i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組を聞いて、それを聞いていなかった友達に、<i>This Girl Makes a Difference</i> というラジオ番組で用いられている表現を活用して話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組で話されている情報について、番組を聞いていなかった友達に伝えるために、Abby が何歳の時に何を、誰のために、誰としたかなどの事実を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ番組で話されている情報について、番組を聞いていなかった友達に伝えるために、Abby が何歳の時に何を、誰のために、誰としたかなどの事実を時系列に整理して、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすい表現で話そうとしている。

Book 2 Focus on Form ⑥ 受動態 p. 121

単元目標

日本発祥で、世界に広がっているものについて、それが日本発祥であることや世界でどのように受け入れられているか、その国に合うようにどのように変えられているかなどについて書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 受動態(受け身)や<助動詞+be 動詞+過去分詞>の肯定文, 否定文, 疑問文, 応答文の特徴やきまりを理解している。 日本発祥で、世界に広がっているものについて、受動態(受け身)の文を用いて、正確に文章を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本発祥で、世界に広がっているものについて、それが世界でどのように受け入れられているかなどについて伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本発祥で、世界に広がっているものについて、それが世界でどのように受け入れられているかなどについて伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。

単元目標

ディスカッションのテーマに関して、自分の意見を理由とともに述べることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、ディスカッションを聞いて、制服は必要か不要かの意見とその理由、それぞれの人数を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてのディスカッションをする参考にするために、Hina のグループのディスカッションの内容を聞いて、それぞれの意見や理由について、要点を捉えている。 Hina と Sho のそれぞれのグループで出された意見とその理由を聞いて、要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてのディスカッションを行う参考にするために、Hina のグループのディスカッションの内容を聞いて、それぞれの意見や理由について、概要を捉えようとしている。 Hina と Sho のそれぞれのグループで出された意見とその理由を聞いて、要点を捉えようとしている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きの理解を基に、ディスカッションを読んで、制服は必要か不要かの意見とその理由を捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてのディスカッションをする参考にするために、Hina のグループのディスカッションの内容を読んで、それぞれの意見やその理由について、要点を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてのディスカッションをする参考にするために、Hina のグループのディスカッションの内容を読んで、それぞれの意見やその理由について、要点を捉えようとしている。
話すこと「やり取り」	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現を活用して、「学校の制服は必要かどうか」について、簡単な語句や文を用いて意見とその理由を伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションをするために、作成したメモを基に、自分の意見を理由とともに簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手の意見に対して賛成か反対かを伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションをするために、作成したメモを基に、自分の意見を理由とともに簡単な語句や文を用いて伝えようとしたり、相手の意見に対して賛成か反対かを伝えようとしたりしている。
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現を活用して、自分のグループでのディスカッションの内容を、簡単な語句や文を用いて報告する技能を身に付けている。 	/	/
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現の意味や働きを理解している。 「学校の制服は必要か」についてのディスカッションで用いられている表現を活用して、自分の意見やその理由を整理し、簡単な語句や文を用いて正確に書いたり、自分のグループのディスカッションの内容のまとめを書いたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」について、自分の意見やその理由を整理し、簡単な語句や文を用いて正確に書いている。 「学校の制服は必要かどうか」についての自分のグループのディスカッションの内容のまとめを簡単な語句や文を用いて正確に書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の制服は必要かどうか」について、自分の意見やその理由を整理し、簡単な語句や文を用いて正確に書こうとしている。 「学校の制服は必要かどうか」についての自分のグループのディスカッションの内容のまとめを簡単な語句や文を用いて正確に書こうとしている。

Book 2 Let's Read ③ Charles Schulz pp. 124-128

単元目標

伝記を読んで、出来事を時系列に沿って整理し、内容を捉えることができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> Charles Schulz の伝記を読むために必要な語句の意味や働きを理解している。 Charles Schulz の伝記を読むために必要な語句の意味や働きを理解を基に、伝記を読んで、Charles Schulz の幼少時代から <i>Peanuts</i> が誕生して世界中で読まれるようになるまでの出来事や <i>Peanuts</i> のキャラクターについて捉える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> Charles Schulz の伝記の要約文を完成するために、伝記を読んで、出来事を時系列に沿って整理し、概要を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> Charles Schulz の伝記の要約文を完成するために、伝記を読んで、出来事を時系列に沿って整理し、概要を捉えようとしている。

Book 2 Focus on Form ⑦ 助動詞 pp. 130-131

単元目標

- ホームステイで来日した学生に対して、自分たちの地域のルールについて具体的に説明することができる。
- 以前はできなかったけれど、今はできるようになったことについて、いつまでできなかったか、いつできるようになったか、どのようにしてできるようになったかなどを書くことができる。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<ul style="list-style-type: none"> 今のことや、これからのことについて言うときに用いられる助動詞、過去のことについて言うときに用いられる助動詞の特徴やきまりを理解している。 自分たちの地域のルールなどについて、今のことや、これからのことについて言うときに用いられる助動詞を用いた文で説明する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイで来日した学生に対して、自分たちの地域のルールについて、簡単な語句や文を用いて、即興で説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイで来日した学生に対して、自分たちの地域のルールについて、簡単な語句や文を用いて、即興で説明しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 今のことや、これからのことについて言うときに用いられる助動詞、過去のことについて言うときに用いられる助動詞の特徴やきまりを理解している。 以前はできなかったけれど、今はできるようになったことについて、今のことや、これからのことについて言うときに用いられる助動詞、過去のことについて言うときに用いられる助動詞を用いて、正確に文章を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前はできなかったけれど、今はできるようになったことについて伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前はできなかったけれど、今はできるようになったことについて伝えるために、簡単な語句や文を用いて、伝えたい内容を整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。